

## F-05 フレッシング疲労 (V0)

フレッシング疲労のき裂は、接触する材料間の微小振動により表面がフレッシング磨耗をする箇所に発生する。き裂は表面から斜めに進展し、内部では引張応力と直角方向に向きを変える。引張応力と直角方向に進展している領域では、破面の特徴は一般的な疲労破壊と同じである。き裂発生部には微小振動によって生成された磨耗粉のフレッシング酸化物が付着している。

フレッシング疲労の発生する機械要素の例

- ・ 鉄道車両の車軸などに用いられる圧入軸（焼き嵌め部など）
- ・ キー溝
- ・ ワイヤロープの素線
- ・ ボルト締結、リベット接合などの板

引用：破壊事故、共立出版